

2009年度 決算概要説明

2010年5月14日

カルソニックカンセイ株式会社

取締役社長兼CEO 吳 文精



2009年度 決算概況

(億円)

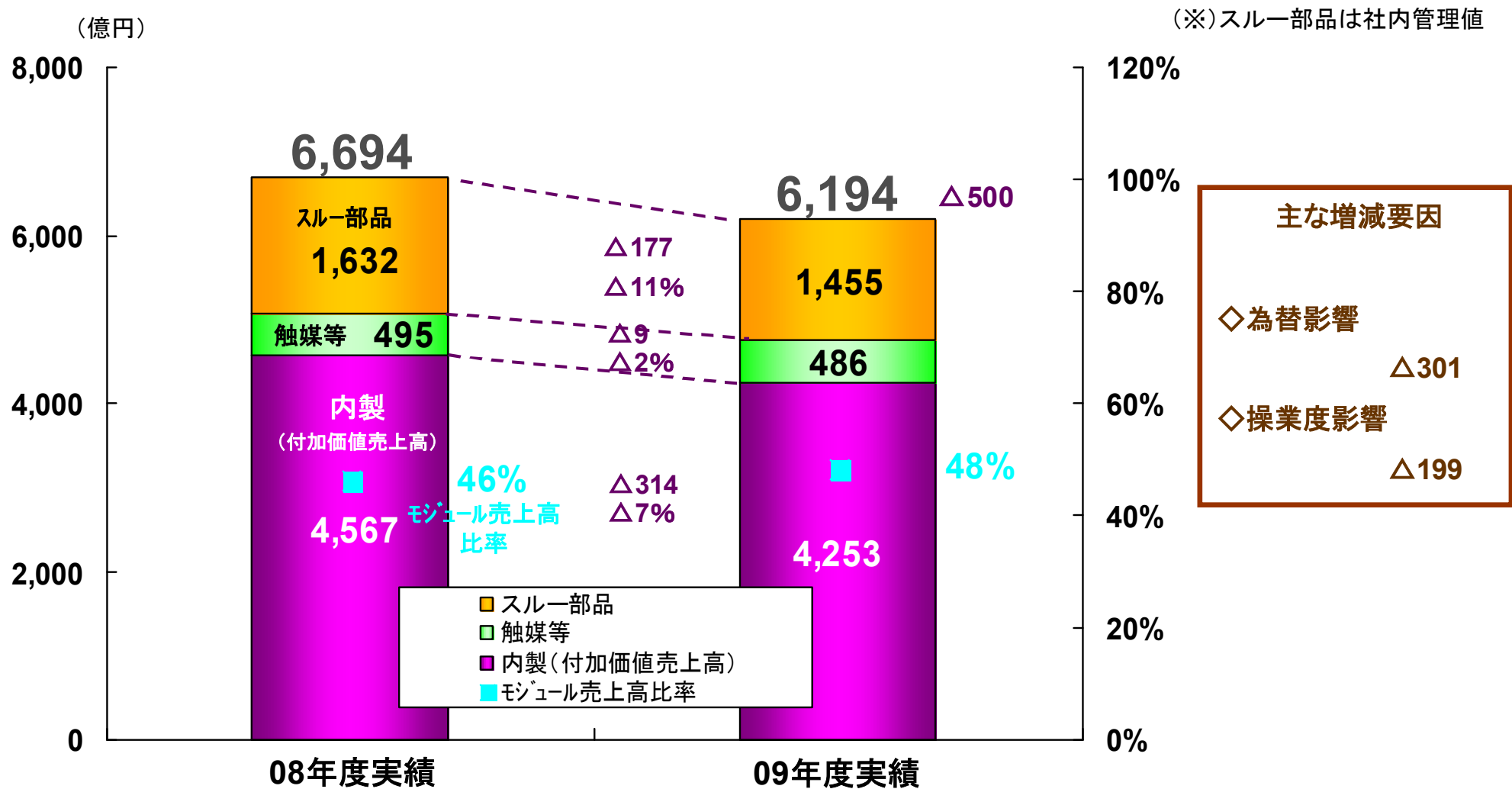
	08年度実績(A) (08/04~09/03)	09年度実績(B) (09/04~10/03)	増減(B)-(A)
売上高	6,694	6,194	△500 △7.5%
営業利益	△168	△57	+111 -
経常利益	△260	△62	+198 -
当期純利益	△553	△133	+420 -

(円)

為替レート	ドル	100.7	92.9	△7.8
	ユーロ	144.1	131.2	△12.9

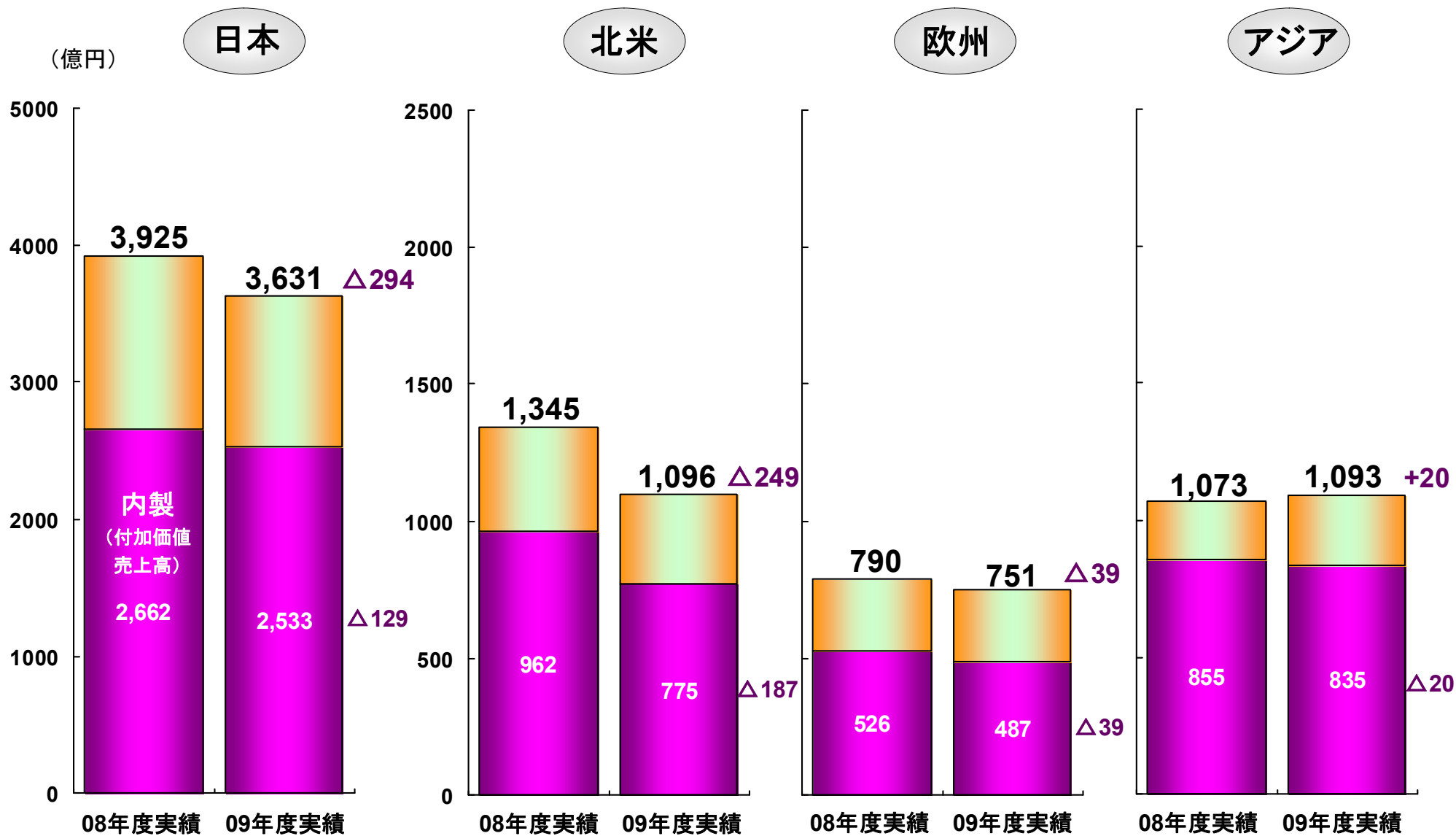


売上高推移



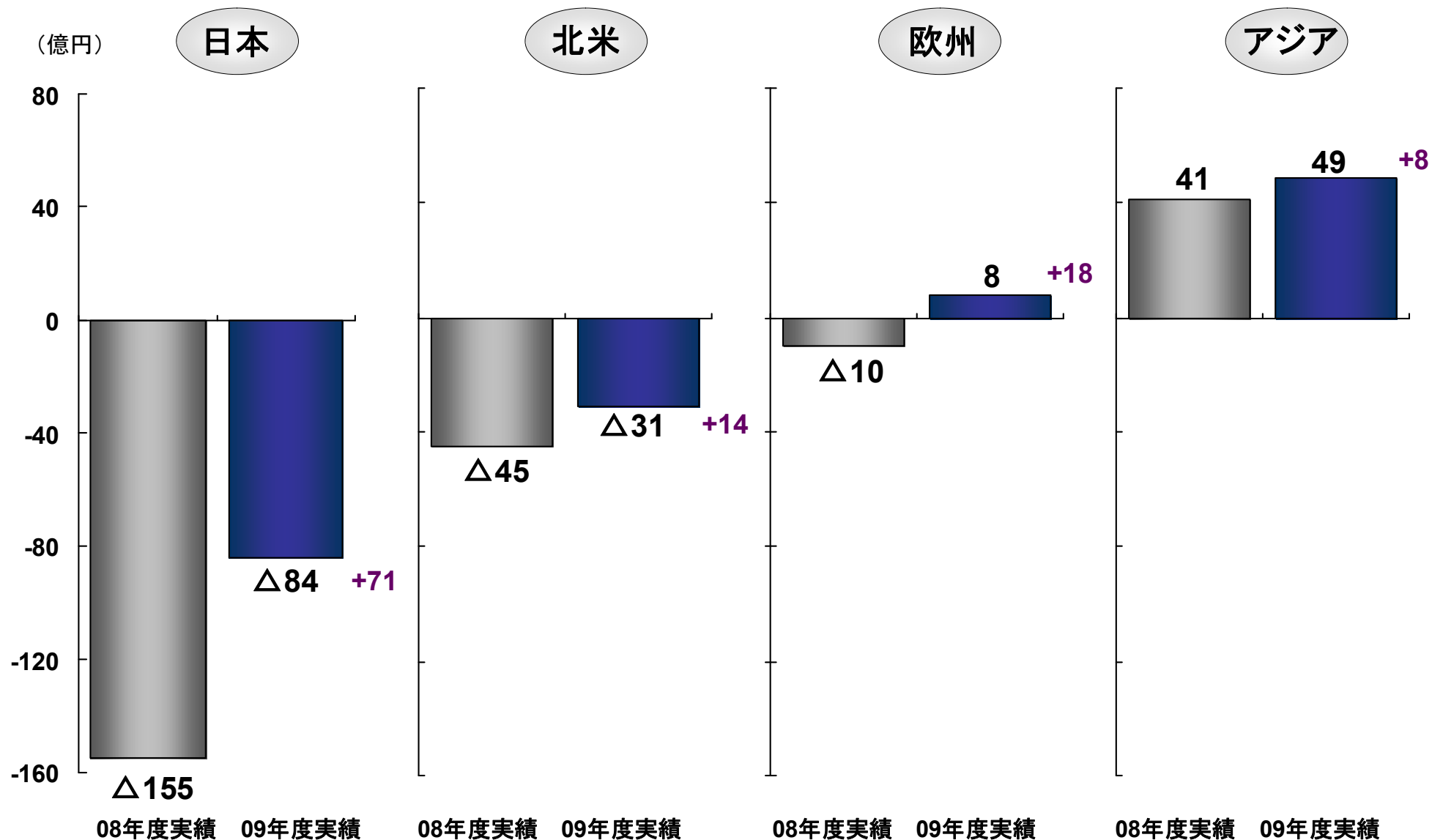


売上高推移 <地域別>





営業利益推移 <地域別>

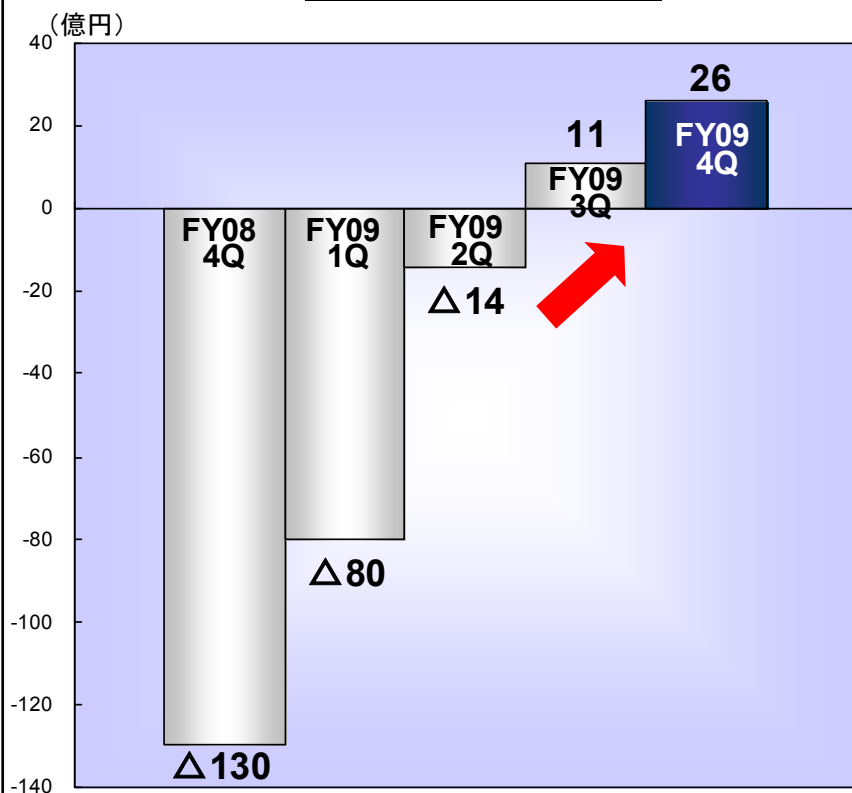




四半期別営業利益推移 <08年度 4Q~09年度 4Q>

四半期ごとと着実に利益回復

09年度 営業利益



- 固定費(労務費、経費)
 - 変動費(MTCR等)
- 合理化等
199億円

- キャッシュフローの改善
(在庫、流通の合理化等)

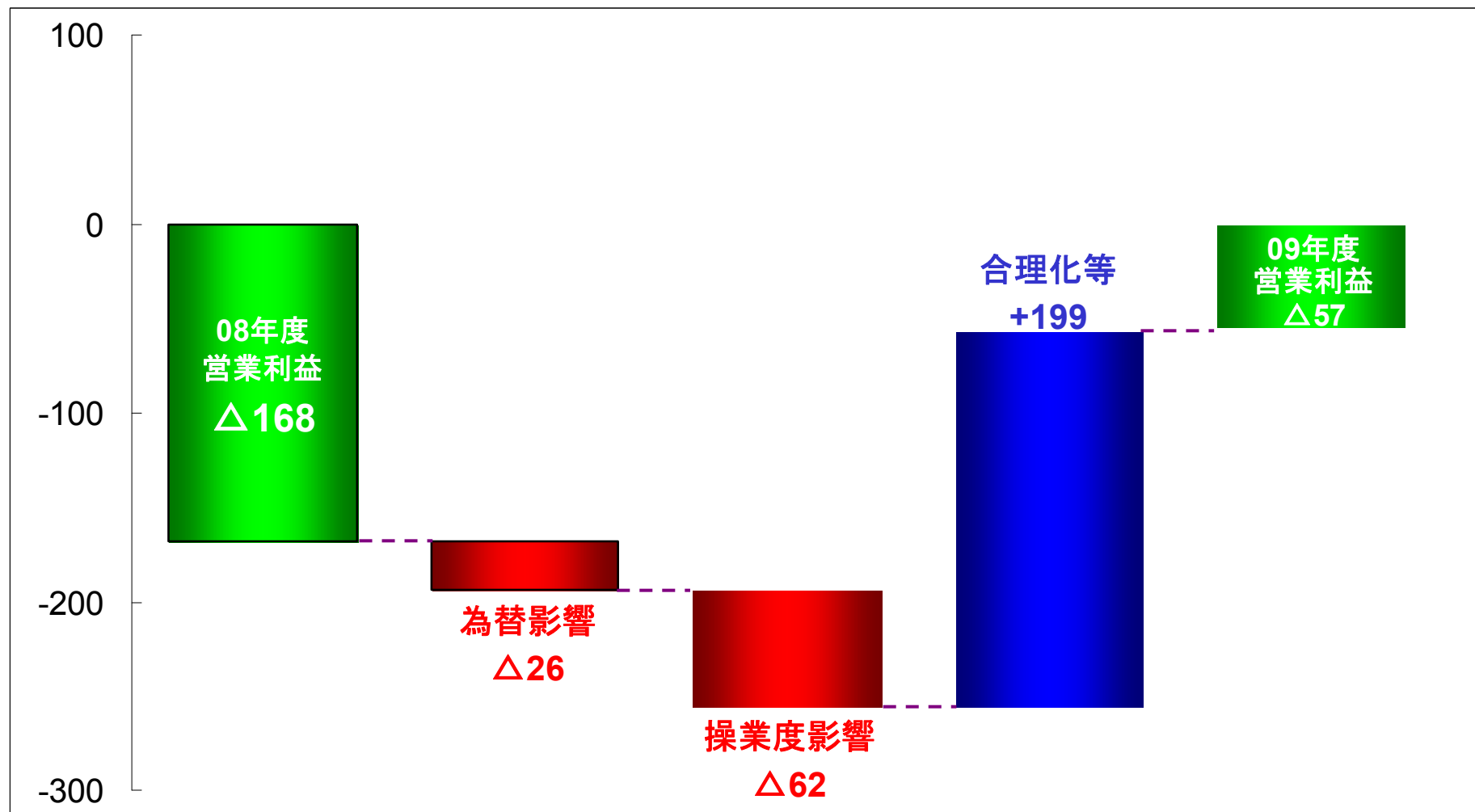
フリーCF 352億円 改善
(△287 → +65)

※MTCR...モノづくりコストの削減活動 Monotsukuri Total Cost Reduction



營業利益 增減要因 <08年度 / 09年度>

(億円)





經常利益、当期利益

(億円)

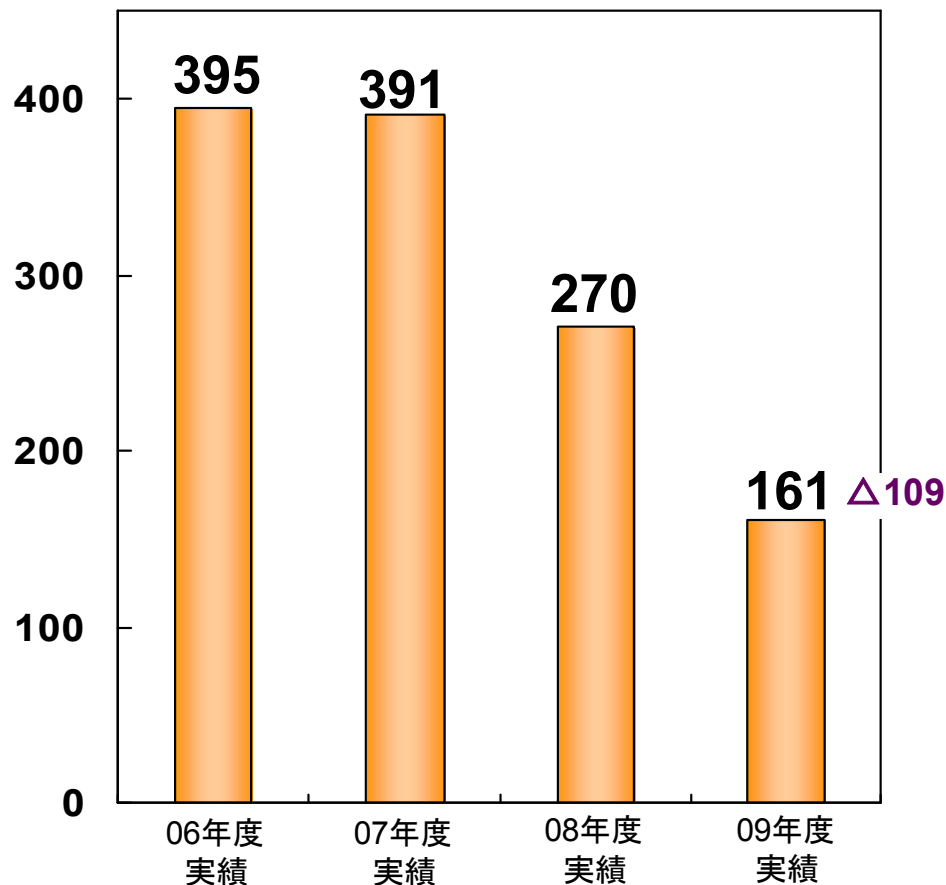
	08年度実績	09年度実績	内容(09年度実績)
営業利益(損失)	△ 168	△ 57	
営業外損益	△ 93	△ 5	為替差損益 08年度 △73 → 09年度 +2
經常利益(損失)	△ 260	△ 62	
特別損益	△ 33	△ 47	減損損失18、工場再編14、 製品補償損失12、等
税引前利益(損失)	△ 293	△ 109	
税金等	△ 260	△ 24	
当期純利益(損失)	△ 553	△ 133	



設備投資、研究開発費

設備投資

(億円)

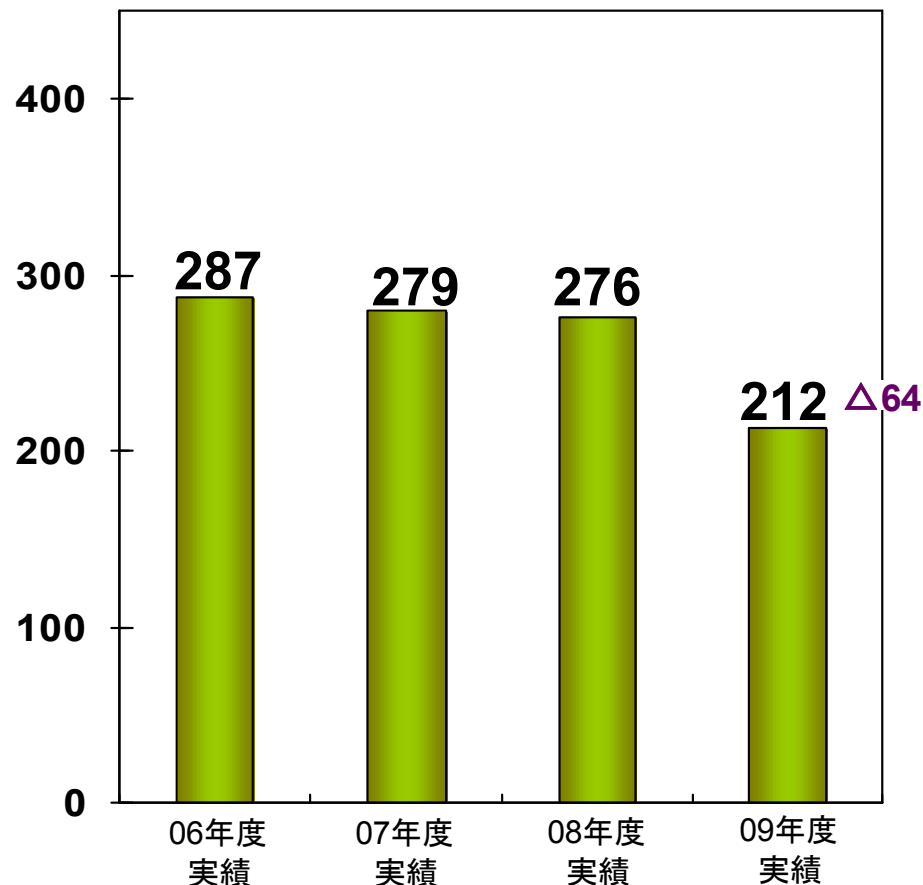


売上高比率
(付加価値売上高)

7.5% 6.8% 5.9% 3.8%

研究開発費

(億円)



売上高比率
(付加価値売上高)

5.4% 4.9% 6.0% 5.0%

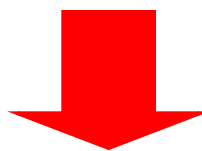
2010年度見通し



2010年度の課題

➤ 2010年の重点課題

- (1) 新興国でのオペレーション拡大
- (2) 新規拡販
- (3) 環境車への対応
- (4) コスト構造改革のさらなる推進



**<収益の改善> 営業利益100億円達成
純利益の黒字化**



2010年度の取り組み

(1) 新興国でのオペレーション拡大

- 中国 ビジネス拡大、現地化推進
- タイ、インド、中国、メキシコ 日産Vプラ対応

(2) 新規拡販

- 日産・ルノー共同 次期グローバル車種
HVAC、コンプレッサー、熱交製品等の拡販
- 日産以外の日系メーカーへの拡販
エンジンクーリング モジュール
ビルトイン・オイルクーラー 等



2010年度の取り組み

(3) 環境車への対応

- **アプライ開発から基礎開発にリソースをシフト**
 - 電気自動車等の環境車対応
- **新製品**
 - EV空調システム
 - ソフトフィール・インストルメントパネル
 - 基盤ハーネス
 - 小型高性能熱交換器



新製品・新技術 ①

EV

EV空調システム

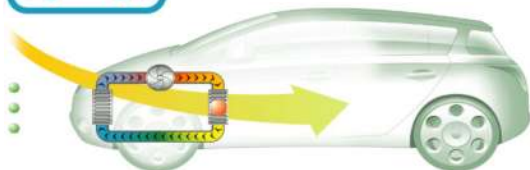
(EV用 省電力除湿ヒートポンプシステム)



内気循環式



外気導入式



◆ 開発目標 ◆

- ・消費電力大幅低減
- ・極低温運転
- ・除湿機能付加

極寒冷地でも作動し、除湿機能を付加した、省エネルギーヒートポンプシステム

快適

ソフトフィール・インストルメントパネル



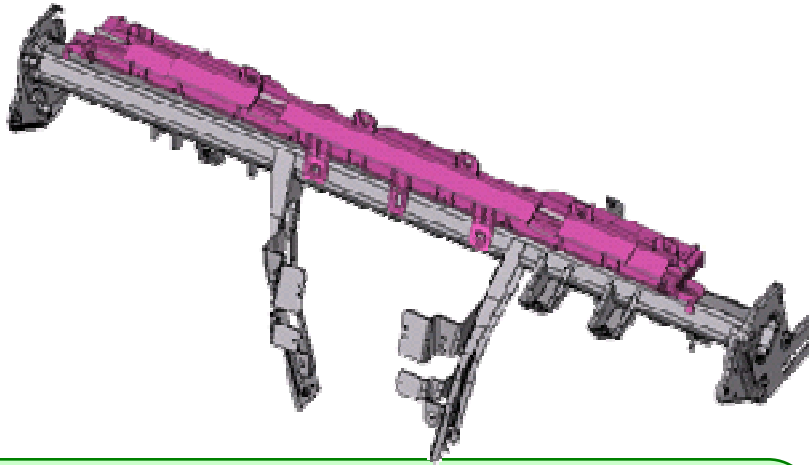
PU-RIM工法による表皮を使用、本革相当の質感を実現したインストルメントパネル(一体型インパネへの適用世界初)



新製品・新技術 ②

環境

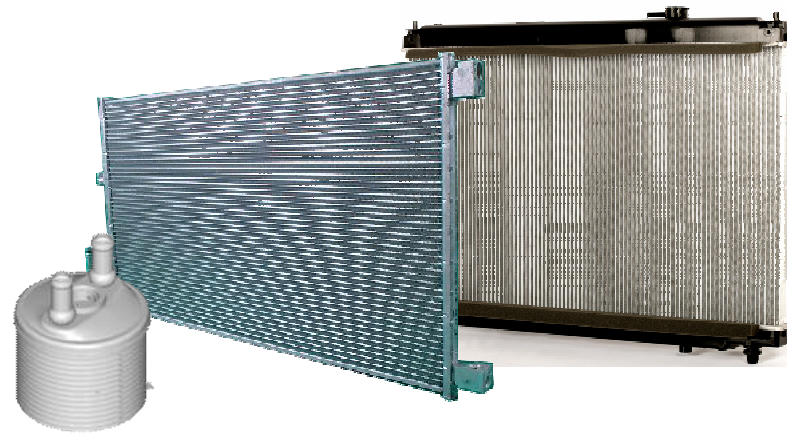
基板ハーネス



20%の軽量化と共に、EMC性能
(電磁ノイズへの耐性)を向上さ
せた、世界初の基板ハーネス

環境

小型高性能熱交換器



1ランク上のクラス性能を
カバーする小型熱交換器
12厚ラジエーター、12厚コンデンサー、
φ85ビルトイン・オイルクーラー

これらの製品は、5/19～21「人とくるまのテクノロジー展2010」
(於:パシフィコ横浜)で展示予定。是非ご来場下さい。



2010年度の取り組み

(4) コスト構造改革のさらなる推進 マーケット環境の激変に対応

● 09年度

- ・ モノづくりコスト削減活動(MTCR)開始
- ・ 厚木・スペイン工場生産停止を決定

● 10年度

- ・ MTCR活動の拡大
- ・ 間接労務費の抑制
(間接部門・管理職のスリム化)



2010年度 業績見通し

(億円)

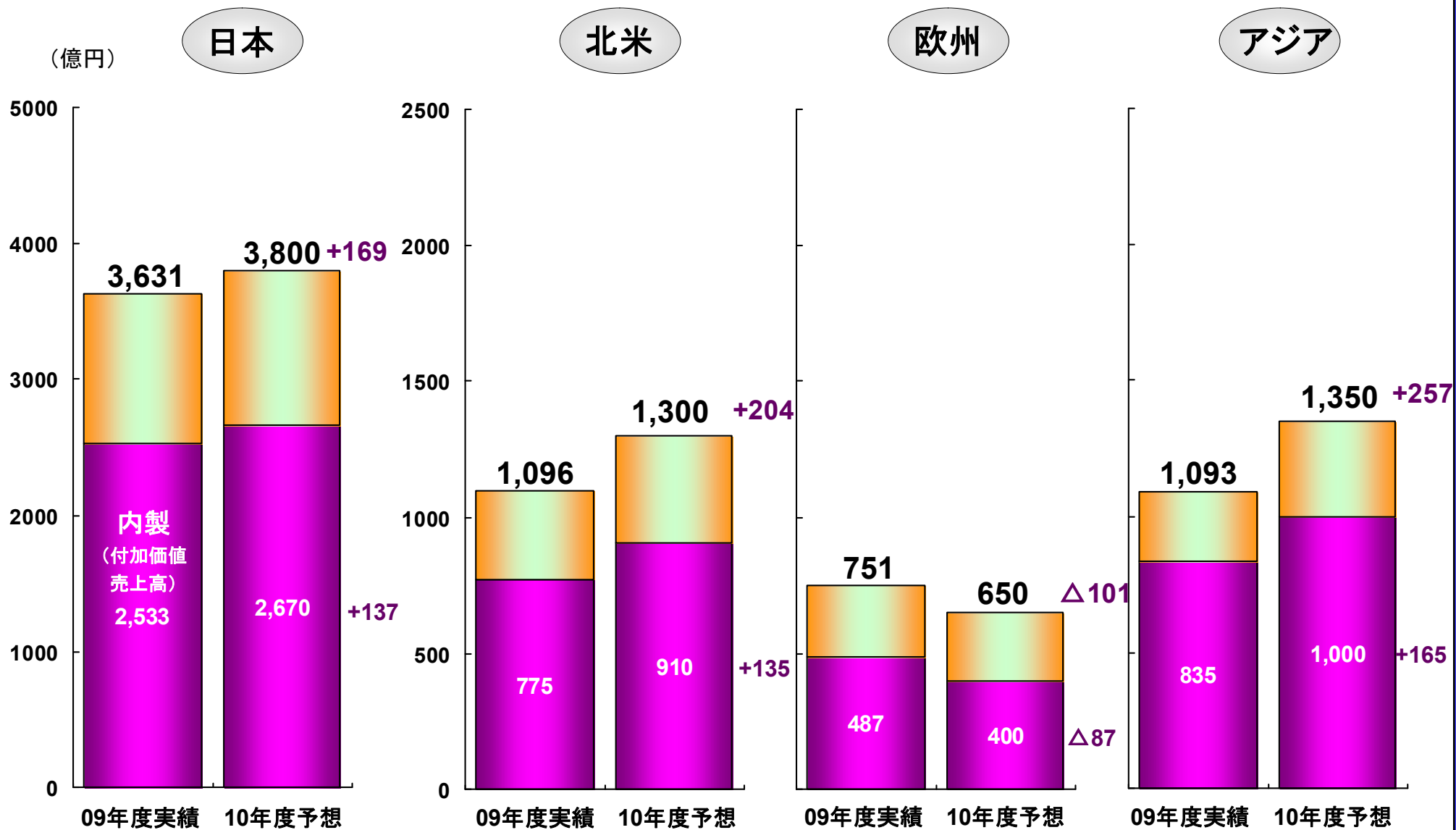
	09年度実績 (B) (09/04-10/03)	10年度予想 (C) (10/04-11/03)	増減(C)-(B)
売上高	6,194	6,700	+506 +8.2%
営業利益	△ 57	100	+157
経常利益	△ 62	80	+142
当期純利益	△ 133	20	+153

(円)

為替レート	ドル	92.9	90.0	△ 2.9
	ユーロ	131.2	120.0	△ 11.2



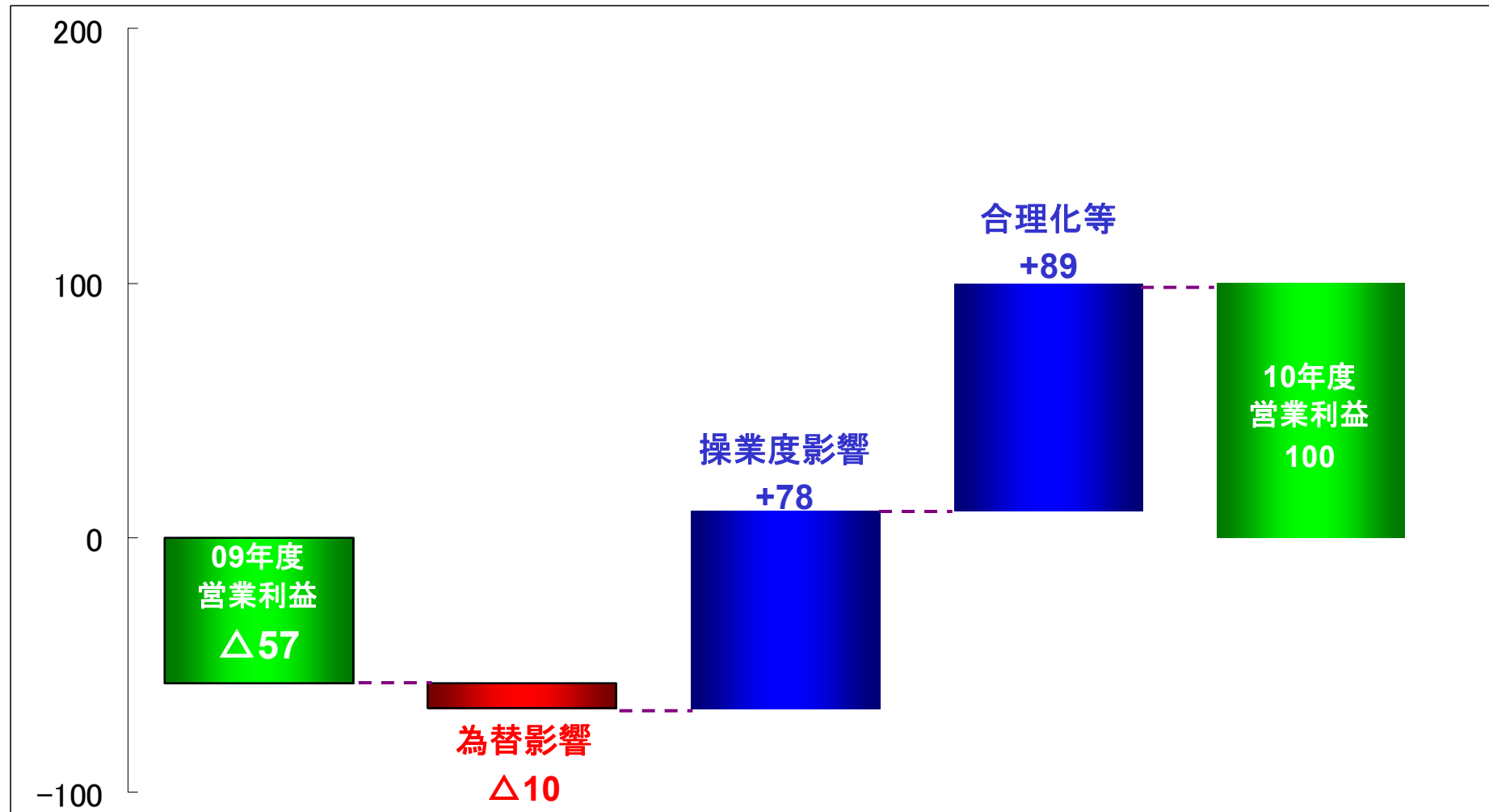
売上高推移 <地域別>





營業利益 增減要因 <09年度 / 10年度見通し>

(億円)

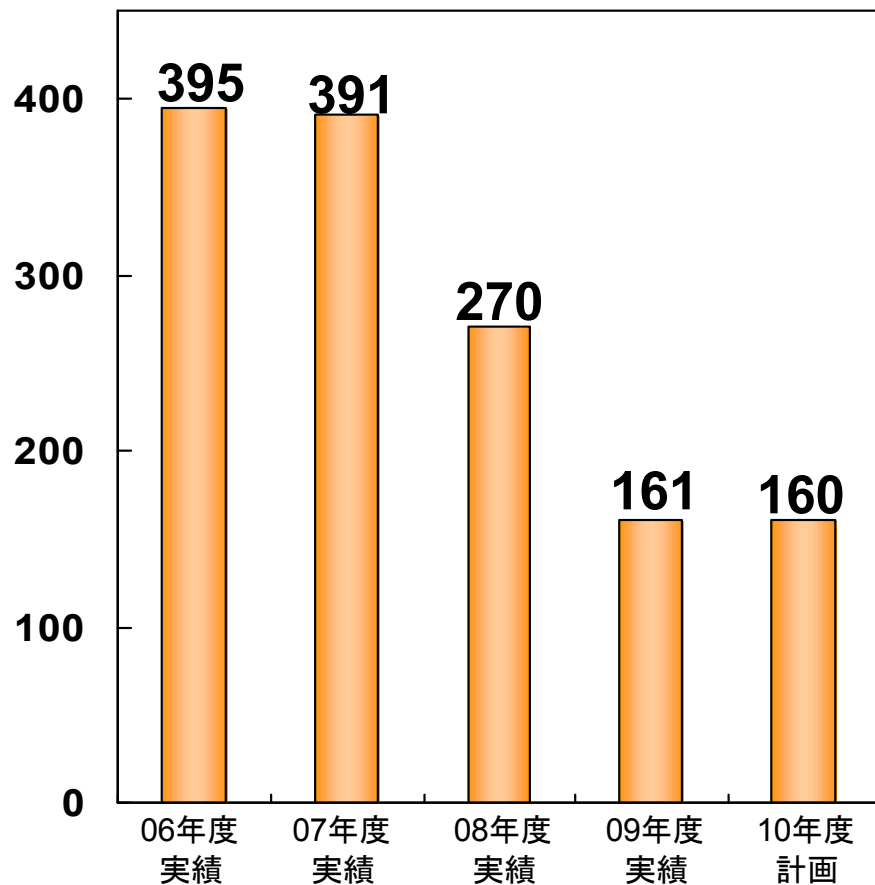




設備投資、研究開発費 計画

設備投資

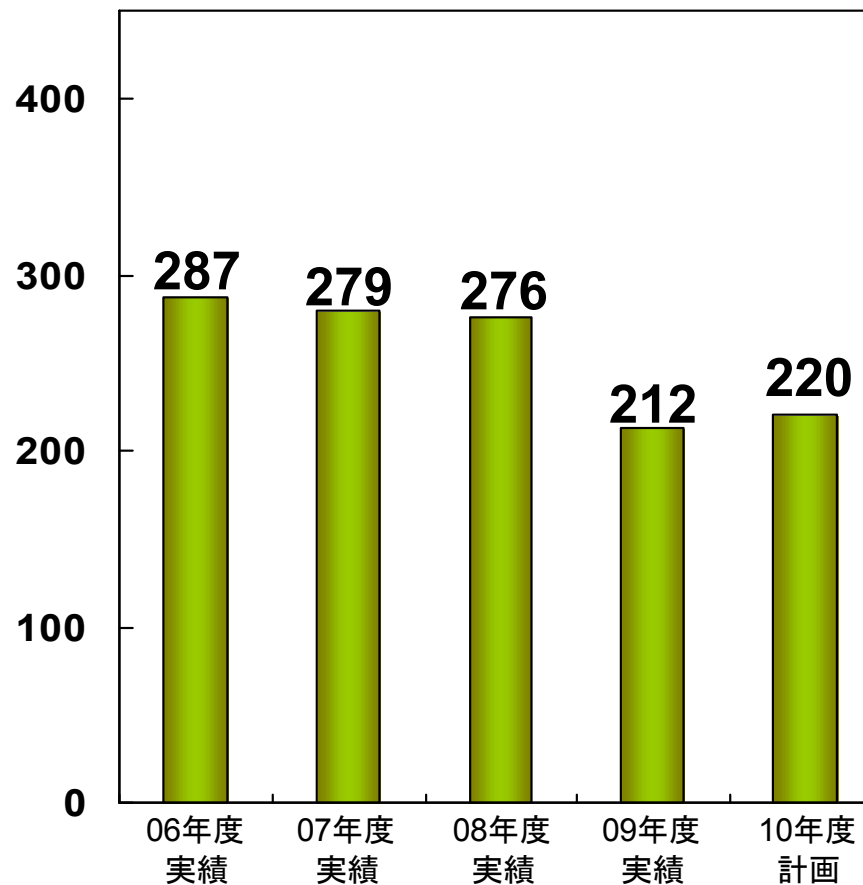
(億円)



売上高比率 (付加価値売上高) 7.5% 6.8% 5.9% 3.8% 3.5%

研究開発費

(億円)



売上高比率 (付加価値売上高) 5.4% 4.9% 6.0% 5.0% 4.8%



2010年度 業績見通し

(億円)

	09年度実績 (B) (09/04-10/03)	10年度予想 (C) (10/04-11/03)	増減 (C) - (B)
売上高	6,194	6,700	+506 +8.2%
営業利益	△ 57	100	+157
経常利益	△ 62	80	+142
当期純利益	△ 133	20	+153

設備投資	161	160	△ 1
研究開発費	212	220	+8
償却費	258	240	△ 18



- ・本資料に記載されているカルソニックカンセイ(株)の計画、戦略、意見等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、経済情勢、市場の動向、為替の動向等重要な要素の変動により、見通しとは異なる結果もあり得ることもご承知おき下さい。
- ・本資料に掲載されている事項は情報提供を目的とするものであり、投資勧誘を目的としているものではありません。
- ・この資料の著作権はカルソニックカンセイ(株)に帰属しております。
無断転載・複製することを禁じます。